

## 優れた低域性能と最高精度の融合：Neumann、DSP エンジン搭載のスタジオモニター-KH 150 をリリース



2022年8月22日、ドイツ・ベルリンドイツのスタジオスペシャリスト、Neumann.Berlin はこのたび、リファレンスクラスのスタジオモニター・ポートフォリオに新たに KH 150 を追加しました。DSP エンジン内蔵の 2 ウェイパワードの KH 150 は、Neumann のすべてのスタジオモニター同様、高解像度ツイーターを採用したほか、超低歪みと優れた最大 SPL を特徴とする新開発の 6.5”ウーファーを搭載。コンパクトなボディながら、大音量でも驚異的な明瞭度と、極めて優れた低域性能を発揮します。39Hz~21kHz (±3dB) の周波数応答は非常にフラットで、放送業界から音楽制作まであらゆる用途におすすめです。音楽のジャンルとしては、アーバンミュージック、EDM、映画のサウンドトラックなど、パワフルで深みのある低域と、大音量での再生が求められるジャンルに最適です。

ポートフォリオマネージャーの Stephan Mauer は新製品について次のように述べています。「KH 150 は、KH 120 と KH 310 のギャップを埋める製品ですが、それだけにとどまりません。内蔵の DSP エンジンは、線形位相クロスオーバーや、かつてないレベルの音色の一貫性といったさまざまなメリットをもたらします。しかも KH 150 は、±0.8dB 未満

という低許容差を実現しており、それを耳で聴きとることも可能です。かみそりのように鋭いステレオ音像をぜひお楽しみください」。

KH 150 はデジタル回路により、Neumann 独自の MA 1 自動モニターアライメント（別売り）を使ったキャリブレーションが可能です。Neumann の CEO を務める Ralf Oehl は次のように説明しています。「KH 150 は、Neumann のすべてのスタジオモニターと同じ哲学に則って開発されました。最高のリニアリティ、超低歪み、不要な色付けなし、あらゆる音響環境への完璧な適応を実現するスピーカーです。パーフェクトな音響を追求するなかで、私たちはスピーカーそのもののすべてのパラメータを最適化するだけでなく、視聴環境を踏まえた最高レベルの可変性も目指しています。KH 150 に内蔵の DSP エンジンは、ゲームチェンジャーとも呼ばれる Neumann の MA 1 自動モニターアライメントと 100% 統合し、どんな部屋でも最良のサウンドを提供します」。

さらに KH 150 は、極めて省エネであるという特徴も備えています。Neumann のエンジニアチームは増幅器技術（特許出願中）の開発に注力し、卓越のオーディオ性能と省エネ性能クラス D を同時に実現しました。KH 150 の増幅器は、6.5"ウーファーに最大 145W、1"ツイーターに 100W を供給しますが、アイドル時の消費電力はわずか 17W。しばらく使用しない時には自動スタンバイにより消費電力を 0.3W まで低減しますが、この機能は無効化することも可能です。

KH 150 の入力アナログとデジタル (S/PDIF) です。バリエーションモデルの KH 150 AES67 は、ST 2110、ST 2022-7、RAVENNA といった放送規格に 100% 準拠した、冗長対応の AES67 オーディオネットワークポートを備えたモデルです。DANTE®で生成された AES67 ネットワークストリームとの互換性もあります。

KH 150 および KH 150 AES67 は、2022 年 9 月より販売されます。定価は KH 150 が 1,650 ポンド／1,750 ドル、KH 150 AES67 が 1,895 ポンド／1,999 ドルです。詳細はウェブサイトをご覧ください：

<https://www.neumann.com/ja-ja/products/monitors/kh-150/>

- 線形周波数／位相応答
- DSP エンジンによる卓越のパフォーマンス、MA1 を用いた自動ルームアライメント
- 39Hz の優れた低域性能、優れた最大 SPL
- アナログ & デジタル (S/PDIF) 接続オプション (AES67 のみ)



## Neumann について

「Neumann.Berlin」の名で知られる Georg Neumann GmbH は、スタジオグレードのオーディオ機器に特化した世界的なトップメーカーであり、U 47、M 49、U 67、U 87をはじめとするレコーディング用マイクロフォンの伝説的名機の生みの親としても知られています。1928年の創業以来、Neumann.Berlin は数々の技術的イノベーションを起こし、いくつもの国際的な賞を授与されてきました。専門は電気音響変換機の開発ですが、2010年よりテレビやラジオ放送、レコーディング、オーディオ制作といったスタジオモニター市場向けの製品開発も手掛けています。Neumann 初のスタジオヘッドフォンは2019年初頭にリリースされ、2022年以降はライブオーディオ用の、リファレンスクラスのソリューションに力を入れています。Georg Neumann GmbH は1991年より Sennheiser グループの傘下に入り、製品は現在、Sennheiser が世界中で展開する拠点ネットワークのほか、長期的な関係を構築してきた販売代理店を通じて各国で販売されています。

### ■当プレスリリースに関するお問い合わせ：

ゼンハイザージャパン株式会社  
永富  
teruishi.nagatomi@sennheiser.com  
03-6406-8911

ゼンハイザージャパン PR 事務局  
中村  
sennheiser@pjbc.co.jp  
03-4580-9156